

## 伊豆半島の地殻変動\*

### Crustal Deformations around Izu Peninsula

国土地理院  
Geographical Survey Institute

第1図は、水準測量による伊豆半島の上下変動分布である。大規模な地震活動が繰り返された80年代や90年代に比較すると、最近の変化は緩やかではあるものの、伊豆半島東部の隆起が依然として続いている。例えば、繰り返された地震活動がひとまず静穏化した後の1999年と最新の2005年を比較した(第1図(a)右図)をみても、伊豆東部が内浦に比べて約2cm隆起している。

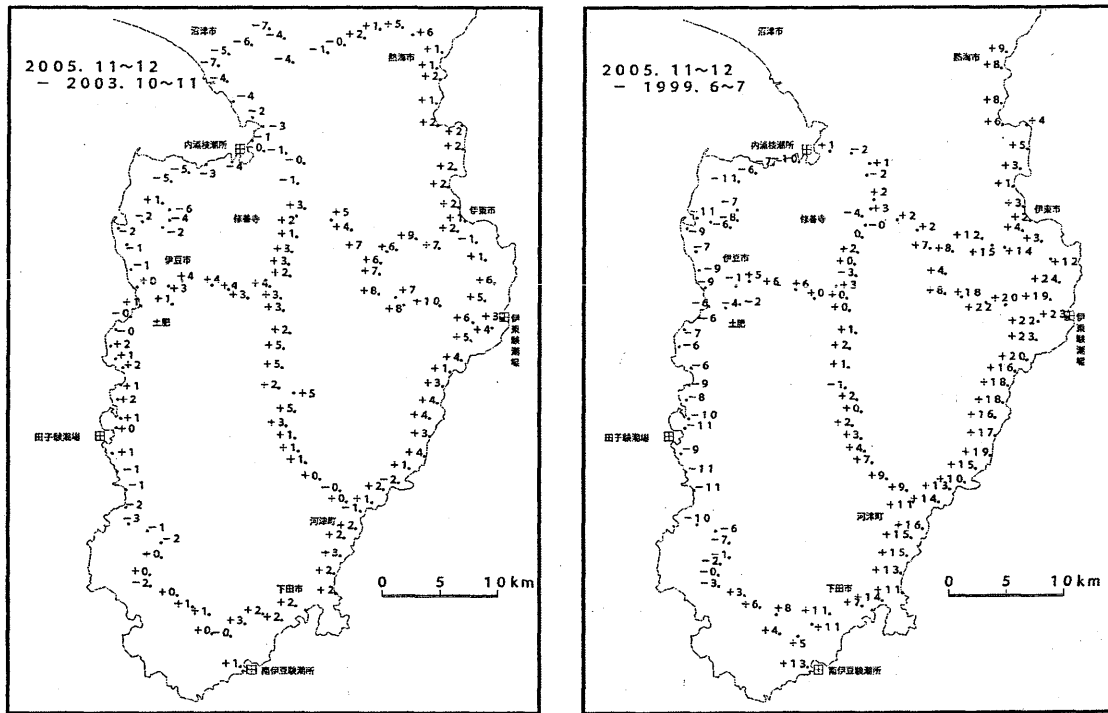
第2図および第3図は、伊豆東部の水準点の標高変化を過去に遡りプロットしたものである。1998年に隆起は一旦止まったが、2001年頃から再開しているように見える。小規模な地震活動は2002年頃から再開しており両者の関係が興味深い。

---

\* Received 26 April, 2006

伊豆半島の上下変動(1)

基準：9400 (内浦)  
単位：mm

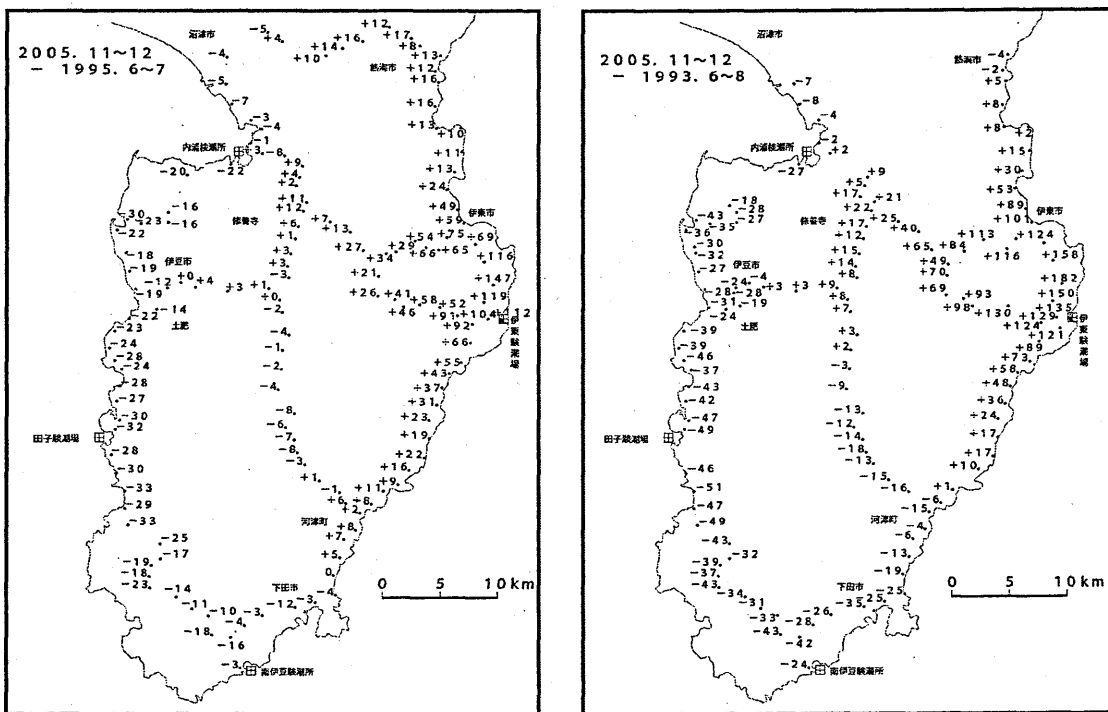


第1図(a) 水準測量による伊豆半島の上下地殻変動 (1)

Fig. 1(a) Vertical Crustal Deformations of the Izu-Peninsula Derived from Repeated Precise Leveling for Different Periods (1).

伊豆半島の上下変動(2)

基準：9400 (内浦)  
単位：mm

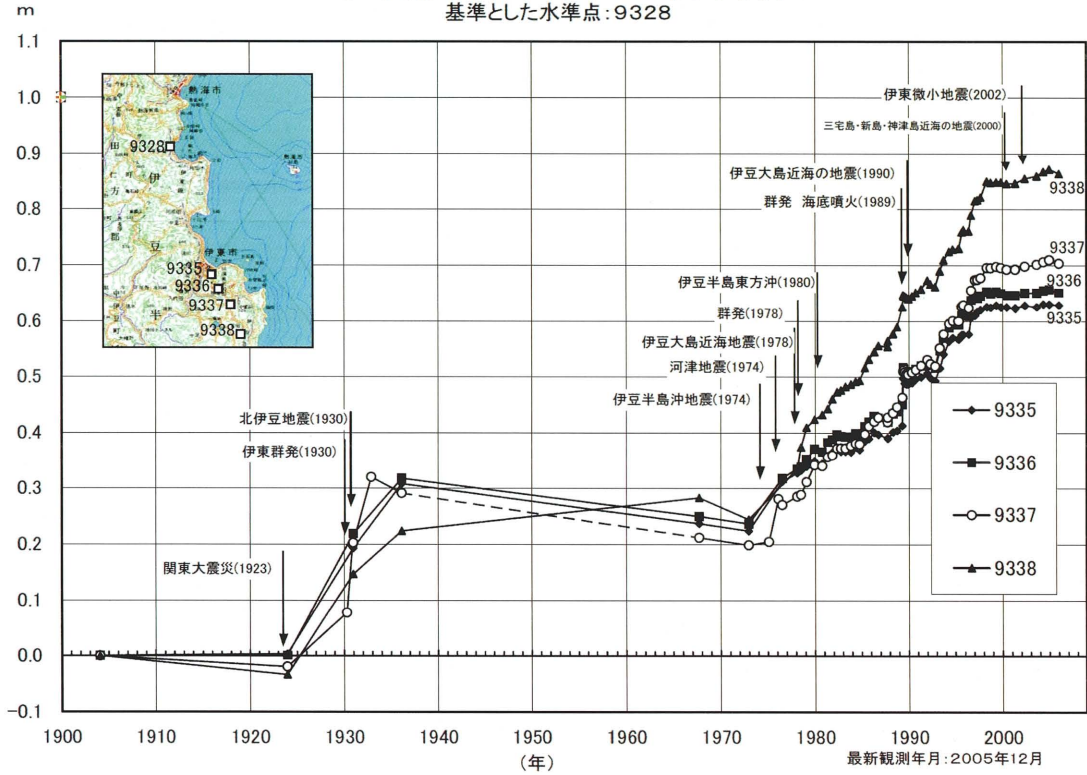


第1図(b) 水準測量による伊豆半島の上下地殻変動 (2)

Fig. 1(b) Vertical Crustal Deformations of the Izu-Peninsula Derived from Repeated Precise Leveling for Different Periods (2).

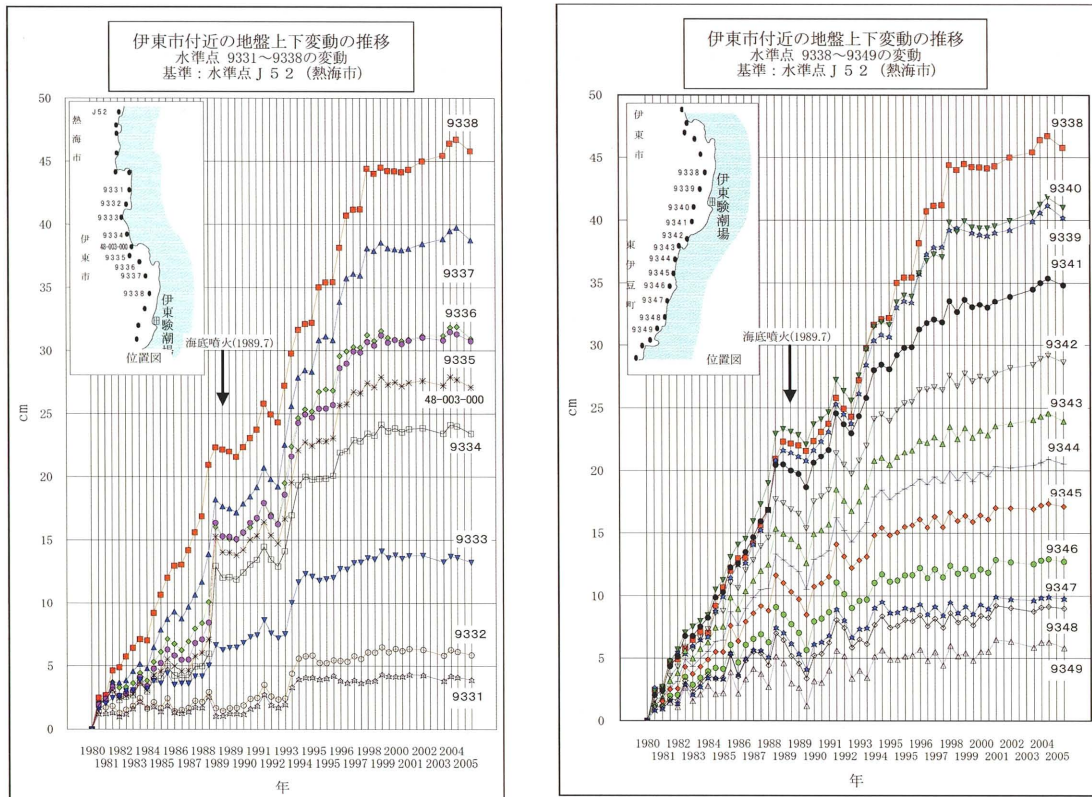
### 水準点 9335~9338の経年変化

基準とした水準点: 9328



第2図 水準測量による伊東市周辺の上下変動の長期的傾向

Fig. 2 Long-term Vertical Crustal Deformations for about a Century around Ito City Derived from Repeated Precise Leveling.



第3図 水準測量による伊豆半島東岸の最近約25年間の地殻変動

Fig. 3 Vertical Crustal Deformations for about a Quarter Century along the East Coast of the Izu-Peninsula Derived from Repeated Precise Leveling.